



NPOポピinz

ポピinz・NPOポピinz 共同開催研修会

慶應義塾大学教授・山本淳一先生による 「応用行動分析を用いた発達支援」

株式会社ポピinz、及びNPOポピinz共同開催講演会のお知らせでございます。

慶應義塾大学教授 山本淳一先生をお招きして、問題行動があり、発達の支援が必要なお子様に、どう介入したらよいのかをワークショップ形式で学べる実践講座を開催いたします。

保護者様が安心して保育施設にお子様を預け、更にその発達を理解して適切な接し方がわかれれば、お子様にとっても、保護者様にとっても、そして保育者にとっても喜びがあると思います。今回の研修会は保育士はもちろん、保護者様や、ご興味のある方どなたでもご受講頂けます。お申込をお待ちいたしております。

■日時：2017年1月24日（火）13:30～16:30

■会場：ポピinz 広尾本社8Fホール

■講師：慶應義塾大学 文学部 心理学専攻

教授 山本 淳一先生（臨床心理士・臨床発達心理士）



＜主な経歴＞

慶應義塾大学大学院 社会学研究科 心理学専攻 博士課程修了（文学博士）。

明星大学、筑波大学を経て現職。国内外の専門雑誌に120本以上の学術論文を執筆。

＜山本先生の研究紹介＞

発達にリスクがある乳幼児、発達障害（自閉症スペクトラム障害、学習障害、注意欠陥／多動性障害など）をもつ乳幼児・児童への応用行動分析学を軸にした発達臨床研究を進めています。

親子関係、友人関係などの社会機能、セラピストの熟達化の過程、カリキュラムデザイン、読み書き理解表現などの学習支援、支援方法の普及過程などの研究に発展させています。同時に表情認知、視線、運動解析など、定型発達との比較を含んだ発達基礎過程の分析も行っています。小児科学、工学など関連分野との連携も進めています。

＜主な著書＞

- ・山本淳一・武藤崇・鎌倉やよい（編著）（2015）「ケースで学ぶ行動分析学による問題解決」金剛出版
- ・吉野智富美（著）山本淳一（監修）（2012）「スクールシャドー入門」学苑社
- ・山崎裕司・山本淳一（編）（2008）「リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ：応用行動分析で運動療法とADL訓練は変わる」三輪書房
- ・山本淳一・池田聰子（2007）「できる！をのばす学習と行動の支援」日本標準
- ・山本淳一・池田聰子（2005）「応用行動分析で特別支援教育が変わる」図書文化 他

■会 場：株式会社ポピinz

渋谷区広尾5-6-6 広尾プラザ8F ポピinzホール（地下鉄日比谷線 広尾駅 出口2 徒歩1分）

■参加費：3,000円 ※当日現金にてお支払いください。

■締 切：2017年1月20日（金）

■お申込・お問合せ：メールにて承ります。

npo@poppins.co.jp こちらに①～④をご記入のうえ送信願います。

＜①氏名 ②電話番号 ③ポピinz利用施設・サービス（ある場合） ④何でお知りになったか＞

以上